

御中

パイロキープTS2000金属防食塗装仕様及び要領書

鋼板防食・超耐候性 (TS2000－2 工程仕様)

下地処理) 下地面の錆、劣化旧塗膜等はワイヤーブラシ、電動工具等でケレンし取り除いて下さい。
錆粉、ホコリ、ゴミ、油分等も清掃脱脂し除去して下さい。

下塗り工程) 任意錆止め使用の際は、エポキシ系錆止めを推奨します。
パイロキープはキシレンを含む塗材です。耐溶剤性のある錆止め使用の上、
規定時間養生の上、次工程に移して下さい。

工程1) 上塗り材1回目	パイロキープTS2000 (指定色)
主剤/硬化剤比	、70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0～10% (パイロキープ専用シンナー)
塗布量	120～150g/m ²
養生	6時間以上 (20℃)

作業上問題なければ、タックのある状態での塗り重ね
(ウエットオンウエット) 可能です。

工程2) 上塗り材2回目	パイロキープTS2000 (指定色)
主剤/硬化剤比	、70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0～10% (パイロキープ専用シンナー)
塗布量	120～150g/m ²
養生	12時間以上 (20℃)

(注意及び施工要領)

- ① 塗装方法は刷毛、ローラー、吹きつけ塗装機を使用出来ます。
2液性塗料につき、2時間以内程度で塗布出来る量を混合し、使い切ってください。
又、寒冷期及び作業工程上、必要な場合は、担当者と打ち合わせの上、硬化促進剤を現場添加する場合があります。→1%程度
この場合は1時間以内程度で塗布出来る量を混合して下さい。(ポットライフ短くなりますのでご注意願います)
- ② シリコン含有量が大変高い特殊塗料につき、泡切れが悪い・泡残りする・乾燥が遅い等の特殊性があります。
ローラー使用では無泡スモールローラー・短毛スモールローラーの使用をお奨めします。
- ③ 置換泡やローラー泡が発生した場合は、ローラー作業では手返し。追っかけで空刷毛(ネタを浸けない)で泡を潰し、ピンホールやドーム状泡残りを防いで下さい。
- ④ 屋外施工の場合、夏場は虫対策の為、夕方に掛かる塗装は避け早めに切り上げて下さい。
- ⑤ 屋外施工の場合、冬場は夜間結露による艶引け等を防ぐ為、夕方に掛かる施工は極力避けて下さい(曇天10℃以下の気温では、硬化が進みません)
- ⑥ 溶剤系塗料です。換気、火気に十分注意し、安全管理をお願いします。

(塗料荷姿)

パイロキープTS2000 (指定色)・・・日塗工調色	4kg/セット・10kg/セット
パイロキープ専用シンナー	4kg/缶 ・15kg/缶

硬化促進剤は、必要な場合のみ申し出により適量添付。